

事業番号	事務事業名	氷紋まつり開催事業費			所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己	
04400	政策名	2	地域経済を支える里づくり			係名	産業観光課	担当者・シート作成者	石田 和之
	施策名	25	観光の振興			根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①イベント代表者会議の開催(上齋原振興公社・町) ②イベント企画コンペによる業者を選定~契約 ③チラシ作成~新聞折込④警察・警備・出店関係者との協議 ⑤大雪像づくり⑥企画~開催~片付け~会計 3年度は代替WEBイベント等の実施に向けた企画設計	平成4年旧上齋原村で企画されたもので、恩原高原スキー場を広く紹介することを目的として冬の祭りを3日間開催した。翌年からは1日のイベントとなった。冬イベントは県下でも少なく、じわじわと人気が出た。平成7年からは、岡山駅に雪像をつくり恩原高原スキー場PRに一役買っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町民及び県内外者	ア 鏡野町人口	人	見込 実績	12,143 12,754	12,143 12,625	12,143 12,497	12,143	12,143
イ	イ 県南地域人口(岡山市、倉敷市)	千人	見込 実績	1,200 1,190	1,200 1,190	1,200 1,190	1,200	1,200
ウ	ウ 京阪神地域人口	千人	見込 実績	16,957 16,957	16,957 16,957	16,957 16,957	16,957	16,957

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 氷紋まつりを通じて鏡野町に来てもらう	ア 氷紋まつり来場者数	人	目標 実績 達成率	13,000 0 0.0%	13,000 0 0.0%	13,000 0 0.0%	13,000	13,000
イ 地域特産品のPR	イ 氷紋まつり売上高	千円	目標 実績 達成率	1,800 0 0.0%	1,800 0 0.0%	1,800 0 0.0%	1,800	1,800
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 開催に伴う打合せ会議	ア 会議の開催回数	回	目標 実績 達成率	10 8 80.0%	10 0 0.0%	10 3 30.0%	10	10
イ 地元団体の出店者会議の開催	イ 出店者会議回数	回	目標 実績 達成率	3 1 33.3%	3 0 0.0%	3 0 0.0%	3	3
ウ 雪像づくり	ウ 製作日数	日	目標 実績 達成率	5 0 0.0%	5 0 0.0%	5 0 0.0%	5	5

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		01 項		03 目		05 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		商工費		商工費		観光費		氷紋まつり開催事業費					
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	2,108	0	3,953			3,953	一般財源	1,998	0	3,370			3,370	
合計	2,108		3,953			3,953	合計(A)	1,998		3,370			3,370	
財源名称							従事正職員人数	2	0	1			1	
							延べ業務事務時間	50	0	50			50	
							人件費計(千円)(B)	175		168			168	
	最終予算額		3,953 千円		予算執行率		85.2%	トータルコスト(A+B)	2,173		3,538			3,538
主な 支出事業内容 (予算)	消耗品費				448 千円		主な 支出事業内容 (決算)	消耗品費				70 千円		
	手数料				175 千円			手数料				0 千円		
	広告料				30 千円			広告料				0 千円		
	委託料				3,300 千円			委託料				3,300 千円		

事業番号	04400	事務事業名	氷紋まつり開催事業費	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
対象者はスキーヤー及び観光客及び町民であり、開始時期から目的意識は変化していない。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
より一層スキー場との一体感を出すため会場をゲレンデ内とし、公社協力のもと様々な体験型アトラクションを開催し、新たなスキー場の魅力をPRできた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
・雪祭りへの期待と関心は年々高まっている。特に冬花火とレーザーは珍しく、問い合わせも多い。雪像も見応えがあるがもっと数を増やして欲しいとの声もある。 ・このところ体験型重視のイベントに切り替えており、雪合戦大会を取り入れ定着してきた。大雪像・雪合戦・そり大会・雪だるま作り・レーザー&花火は切り離せない。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <b>理由説明</b> 鏡野町の3大イベントとして、恩原高原スキー場の魅力を発信し多くの集客を図ることを目的にしたイベントのため結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <b>理由説明</b> 鏡野町の3大イベントとして、鏡野町に多くの集客を図ることを目的にしたイベントのため妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <b>理由説明</b> 恩原高原スキー場を中心とした冬の観光資源を町内を始め、広く町外・県外に広報していくことは妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している <b>理由説明</b> 来場者のニーズは、年々変化するため、イベントの企画段階で内容を精査していく必要はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <b>理由説明</b> 鏡野町の冬にイベントとして定着したものであり、鏡野町の魅力発信には必要なコンテンツのため、廃止することは、マイナス効果は大きく恩原高原の魅力も低下する。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない <b>理由説明</b> アフターコロナに向け、イベント内容については検討の余地はある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <b>理由説明</b> イベントの主催は町であり、恩原高原スキー場の指定管理業者の上齋原振興公社に協力を頂いて、事業実施しているため、事業費の削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <b>理由説明</b> 安価かつ最大限集客の集められる仕組みづくりを模索していく必要がある。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <b>理由説明</b> 町民及び県内外から広く集客を求めており、適正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
<table border="0"> <tr> <td>A 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地あり</td> </tr> <tr> <td>B 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地あり</td> </tr> <tr> <td>C 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地あり</td> </tr> <tr> <td>D 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地あり</td> </tr> </table>	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	雪に慣れ親しんでいない方にも恩原高原スキー場の魅力を知って貰うため、雪を使ったアトラクション、遊具を通じてスキーやスノーボード以外のスキー場利用価値をイベント前、当日アトラクションで見出してきた。施設運営事業者の公社とも良好な関係が築けており一層のスキー場、そして冬期鏡野町の観光振興につなげていきたい。 令和3年度はコロナウイルス感染症拡大により開催を中止し、アフターコロナでの誘客に繋げるためWEBイベントの企画設計を行った。今後については、例年通りの開催を予定していく。										
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																					
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																					
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																					
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																					
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 アフターコロナでの開催できる体制を作り、なお、経費を抑えつつ最大限集客の集められる仕組みづくりを模索していく必要がある。																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
コロナ対策について、協議し、イベントが安全にできる体制を構築する必要がある。																							